

「第十八回草加市青少年の主張大会」の作品集刊行によせて

草加市青少年健全育成市民会議 会長 木村 功

平成三十年度「草加市青少年の主張大会」にあたり、草加地区保護司会・草加地区更正保護女性会の共催と草加市小中高生徒指導委員会の協賛をいただき、心より感謝を申し上げます。また、ご来賓として草加市長 田中和明様には公私共にご多用の中にも拘らず、ご臨席を賜り、誠に有難うございました。

この大会では九十四名の応募者の中より選ばれた十二名の児童・生徒の皆様方が作品を発表いたしました。平成十三年度より実施しております大会も十八回目になり、青少年が日常生活の中で考えること、感じていることを広く社会に訴えることにより、同世代の青少年に対して意識の啓発と社会の理解に関心を高めることを目的としております。

さて、某新聞朝刊の埼玉版で「いじめアプリで相談」という見出しの記事がありました。草加市教育委員会は六月四日、市立十一中学校の一年生向けに、スマートフォンなどでいじめなどの相談・報告ができるアプリ「STOP it（ストップイット）」の導入を開始

したと発表があり、県内では初の試みであります。アプリを生徒や家族のスマートフォンやパソコンにダウンロードすると、いじめ被害や目撃情報などを市教委に直接、匿名で知らせることが可能で、双方でやりとり・相談もできる。市教委指導課によると、千葉県柏市では、昨年二十校で導入。その後、相談件数が急増、いじめ件数が減少するなどの効果を上げているそうです。草加市は、五月末から中学一年生を対象にいじめ防止のための授業を実施、希望者にアプリをダウンロードしている。今後三年で希望する全中学生に行き渡るようにしたい考えだという報道がありました。草加市はこのように未来を担う青少年のために埼玉県内で初の試みとして昨年、全町会・地域で市民上げて、各学校・施設を利用しての防災訓練も行われ、いろいろと実践いただいております。子どもたちが「草加のまちに住んでいてよかったなあ」と思っていたことが我々大人への最高のプレゼントの言葉です。

この大会においても青少年が安全で安心な草加のまちで、日常生活の中で夢を持ち、その目標に向かって地道に生きる努力をされておられることに私たちは、未来を担う青少年たちに大きな期待と夢を託したいと思えます。

結びに、この大会を運営するにあたり、各団体の皆様方をはじめ、作文応募や審査にご協力をいただいた市内各学校の先生方には深く感謝を申し上げまして、当市民会議会長の挨拶に代えさせていただきます。